



有松まちづくりの会役員会 (4月27日)

5月15日13時30分より絞会館2階大会議室で開催の総会について、段取りや役割分担の確認を行いました。また、できるだけ多くの会員さんにご出席いただけるようお声がけをすることを申し合わせました。併せて、新規会員さんの開拓に力を入れることを共有しました。4月23日に行われた令和8年度第1回有松日本遺産推進協議会の事業計画や収支予算についての報告があり、それぞれの活動についての更なる協力要請がありました。

絞り鯉のぼり展示 (4月16日～5月10日) 於:東海道各所

鯉のぼりの展示作業が4月12日から始まった。今年で7回目。2020年から、鯉は逆風が吹かないと泳がないことから"逆風に負けないようにとの願いを込めて"展示されてきた。

今年は重伝建選定10周年の節目の年。また、去年は日本遺産認定継続で苦心した年でもあった。展示作業に取り組んでいる方を見ると、例年以上に逆風に負けない鯉の展示に力が入っているようだ。主催は有松まちづくりの会と鯉活プロジェクト実行委員会。



【 展示場所 】

有松郵便局 碧海信用金庫有松支店 棚橋邸 中濱商店
六弦とコットン 松柏苑 竹田嘉兵衛商店 岡家住宅

ブラタモリ 有松来訪 (3月21日)

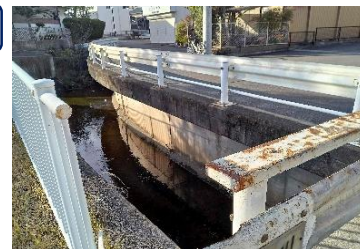
NHK総合「ブラタモリ 桶狭間の戦い」が14日に続き放映された。井桁屋の前で広重の五十三次の浮世絵をかざして江戸時代そのままの町並みを紹介していた。

中島砦から桶狭間の義元本陣(おけはざま山)までのルート进行を考察する旅の一環として訪れた。昨年11月に収録され、放映を心待ちにしていた人も多かったのでは…放映後は「撮影場所を見に来ました」と訪れる人もちらほら散見された。



緑区役所主催散策会「春の古道歩き」(3月24日)

参加者20人を得て、珍しいコースでの散策会が行われた。最初は藍染川の源流を訪ねる旅。ほぼ線路沿いに東に進んだが、途中川幅が広いところでは「ここが洗い場のようです」とあないびとの方が案内していた。松野根橋では満開の枝垂桜のもとを流れが続き、かつて池だった桜花学園駐車場まで歩く。源流の一つと言う。松野根橋からの流れは「ほぼ古道の近崎(ちがさき)道沿い」とのこと。この駐車場付近は信長進軍ルートの釜ヶ谷、タモリさんも行った"信長坂"を登る。最後は長坂道を通り、高根山経由で有松駅に戻った。



かつての洗い場



松野根橋で⇒



ありまつ公園の藤
まちの風景

あいまつさんぽ市のこと (3月15日) 企画担当者

昨年から有松天満社春季大祭と同日開催で、有志による小さなマルシェを開催してきました。これを母体に「継続的に」「もの作りのまちならではの手作り」でマルシェを行いたいという想いが募り、本年度から"あいまつさんぽ市"をスタートすることに…

中濱商店駐車場での風景→

小さなマルシェにこだわったのは、有松へ訪れる方々の「ここはホッとする場所だね」という言葉から。名古屋の中心部から20分圏内にありながら、江戸時代の面影を残す有松。絞りの産地でもあり地域の方々にとっては生活の場でもある。地域の方々にとっても訪れるの方々にとっても、そして出展者や企画者も楽しめる"空間""コミュニティ"にできたらとの想いからです。

「何をやってるんだろう」「なんだか楽しそう」「ちょっとゆっくりしていこうかな」そんなマルシェができました。当日は、ワークショップが行われたり会場を回遊できる工夫がされたり…更にお子さんたちも楽しめる企画も用意され、賑やかでした。

《参加店舗》レンタルスペース有松小町の出店者(駐車場ゾーン)

ギャラリー&珈琲屋台 六弦とコットン/日本茶カフェ MARUKI/ お花屋 Luore



第2回 ひさだ落語会 (4月18日) 於:しぼりの久田本店

昨年11月に続いての開催。前回同様の大入り、会場の座敷は埋め尽くされていた。20名弱はリピーター。5人のアマチュア落語会であるが、前回急に休まれた痛風亭あたた(写真右)さんの夫婦間の創作落語で理由が分かった。「孫の七五三祝いで、妻に選択肢はない」と言われ…会場は笑いに包まれていた。代表の左うちわ暢気さんは「落語会に相応しい会場。町の方も温かくて」再び開催することに決めたとのこと。夏には怪談話を披露したいとも語っていた。長坂道に賑わいをもたらすこの落語会が長く続いて欲しいと切に思う。



「春のあいまつさんぽみち 福よせ雑と町歩き 2026」 名古屋まちづくり公社の活動助成を受ける！ 有松まちづくりの会 加藤明美

有松まちづくりの会では、早春の有松に賑わいを創出しようと2016年から雛人形のリサイクルプロジェクト「福よせ雑」事業に取り組んでいます。昨年まで10回の反省として、「福よせ雑」の趣旨を来訪者にきちんと理解していただくため英文入りの趣旨説明パネルを作ることが実行委員から提案されました。

しかし、経費がありません。そこで"地域まちづくり支援制度"にチャレンジしてみることにしました。既に開催している事業のステップアップを目指す"トライアル活動助成"です。「福よせ雑」の趣旨説明パネルの掲示の他、小路など展示場所の拡大・製作者など関係人口を増やすこと等プラスアルファの活動として申請しました。書類審査だけでなく、審査員や他の申請団体の皆さんを前にしてのプレゼンなど数々の審査を経て、13万円程の活動助成が認められました。お陰様で11回目の今年の開催では、外国人の方を含めた来訪者の皆さんに、今まで以上に楽しんでいただくとともに実行委員のもやもや晴らせたものになりました。

今回の申請は、継続事業でも常に新しいことを取り入れていくことが必要であると改めて感じさせてくれました。また、まちづくり活動に取り組む他の団体の方々を知りその熱意に感動し、今後の有松での活動に参考にしたいと思いました。それにしても…ありがたい公金をいただくというのは本当に大変なことでした。



緑図書館展示 “緑区に捕虜収容所があった！” (3月12日～4月10日)

太平洋戦争中、有松駅近くに捕虜収容所があったことは、この10年程少しずつ知られるようになってきた。現在、収容所があった跡はほとんど残っていないが、様々な団体・個人が語り継ぐべく活動に取り組んでいる。この展示会は「みどり戦争体験を語り継ぐ会」が企画。米軍機が撮影した収容所の写真や捕虜の体験談等が紹介されていた。特に、有松あないびとの会が制作された紙芝居「お灸と指輪」(文:浅野康子 絵:福岡友一)は、戦時下での敵味方を超えた友情物語*であり、戦争体験を語ることの奥深さを示すものとして多くの人が目にしたようだ。

* 有松の町医者 棚橋龍三氏が薬不足の折、治療にお灸を取り入れたことが、戦後捕虜虐待を疑われた。しかし、共に収容所で治療に当たっていた捕虜の軍医の「東洋医学の治療」との証言で無罪放免となった。



有松町家ライブ 春うららライブ にことごと ～春音の彩り二胡と箏～ (4月5日)

会場の棚橋家住宅から漏れてくる音色が春の有松に心地よい。東海道を歩く人も耳をそば立てて通り過ぎてのことだろう。

絞会館駐車場付近は満開の桜で満ちていた。ありまつ公園でも有松小学校でも…何より見て欲しいのは会館奥のウコン桜。きんさん、ぎんさんお手植えの桜。淡い黄緑色の八重咲きの桜で珍しい高貴な花。来年は是非見て欲しい。

演者は二胡：中村ゆみこ/箏：杉浦 充。20年程組んできただけあって息もピッタリ。「ニイハオ」で始まるライブ。会場の40人は一気に演奏に引き込まれる。“さくら(森山直太郎)”や“言葉にできない(小田和正)”などなじんだ曲が続く。途中には楽器の説明もあり、あっという間の1時間であった。



ウコン桜→

《今後の予定》5月16日(土)14:00開演 棚橋家住宅 特別企画～新緑の奏～ チェロ山田真吾/ピアノ関野直樹
6月20日(土)15:30開演 寿限無茶屋 アンデイスの風(フォルクローレ)ライブ Grupo SAYA Andes

東陵中芸術文化探求部成果発表 (4月7日) 於:有松コミセン

有松あないびとの会の例会時、2年生の平松さんが発表。「有松の日本遺産剝奪を防ぐために」をテーマに、現状の問題点の指摘や認定継続への提案など、素晴らしい内容でした。「日本遺産剝奪」など強烈な言葉も聞かれ、また質問にもたじろがずに対応されていました。



(注) 藝探部では有松について各自テーマを決め調査を行っている。

CCNetで放映 有松天満社 公式キャラクター

4月号で紹介できなかった公式キャラクターがしっかりと放映されていた。有松出身の漫画家 有馬ツカサさんがデザインしたもので、3月15日春季大祭当日には人気投票も行われていた。またこの日、巫女さん役でボランティア活動されていた2人が公式キャラクター4人の中の2人であることも紹介。中鯉 壇(なかごい だん)役の方は「慣れない衣装での仕事でしたが、いい経験ができました」、東家 鳳香(あずまや ふうか)役の方は「後半は慣れてきてスムーズに動けるようになりました」とインタビューに答えていました。有松 虹恋(ありまつ ここ)/西寺 龍之介(にしでら りゅうのすけ)のイメージモデルにはいつ会えるのかな。



有松に魅せられて⑥

温かく迎え入れてくれるまち

本田かほり

有松でカフェ(Café T-Ryuju)を始めて、この8月で12年を迎えます。地元出身ではない私を、町の皆さまは温かく迎え入れ日々支えてくださいました。伝統あるお祭りや文化を大切に守りつづけている姿に、いつも感動と尊敬の想いを抱いています。

これまで音楽イベントやワークショップ、小さな講座など開いてきました。今後も変わらず、皆さんが集い楽しめる場でありたいと願っています。また、ひとりでもふらりと立ち寄ってお茶を飲んだりほっと一息ついたりできるようなくつろぎの時間を過ごせる場でもありたいと思っています。自然と人が集い笑顔で過ごせる時間が広がっていくことを願いながら、町の一員としてお店を続けていきたいと思っています。



有松あないびとの会 新人研修始まる (3月30日)

ガイド団体の多くが会員の高齢化等で会員減少に直面する中、本会は増やしていることが注目される。それ以上にガイドの質の維持にも工夫がなされている。新人研修はマンツーマンで指導役が示範を示しながら行われる(全3回)。事前に分厚いマニュアル本も配布されている。



緑区映画試写会 (3月22日)

会場の緑文化小劇場は開演の30分前には既に長い行列ができ、関心の高さを示していた。緑区の魅力を発信すべく昨年のM-60に続き制作された"セイシュン・モンスターズ"、高校生・唯(ゆい)の成長物語である。



林監督映画の見どころアクションシーンとともに区民から公募したエピソードが活かされていた。劇中の女性職人さんは彩 Aya Irodoriの括り職人大須賀 彩さんがモデルとか。試写会后、女性職人役を演じた緑区出身の俳優 川瀬 莉子さんの緑区PR大使就任のセレモニーが行われた。川瀬さんが瀬音区長から特大名刺を受け取ると会場から大きな拍手が沸いていた。



催事・行事予定

- ～5月10日(日) 絞り鯉のぼり展示 東海道各所 有松まちづくりの会
- 5月1日(金) 19:00 NPO法人桶狭間古戦場保存会総会 桶狭間公民館
- 5月15日(金) 13:30 有松まちづくりの会総会 絞会館2階
- 16:00 NPO法人コンソーシアム有松総会 竹田家3番蔵
- 5月17日(日) 10:00 桶狭間古戦場まつり・万灯会 桶狭間古戦場公園他
- 5月18日(月) 18:00 有松町並み相談会 有松コミセン
- 5月24日(日) 7:30 かえで道清掃 有松まちづくりの会
- 5月25日(月) 18:30 有松まちづくりの会役員会 有松コミセン
- 5月31日(日) (時間は各地域で異なる) 町内一斉町美活動

《お詫びと訂正》 前189号で名前の間違いがありました。4頁 浅田万貴⇒浅井万貴

発行者

編集者 加藤明美(有松まちづくりの会 広報部長)

pegasusb@mc.ccnw.ne.jp 取材・撮影 伊藤総俊

有松まちづくりの会は新規会員を募集しています。(年会費1000円)

詳しくはホームページ又はお近くの会員までお問い合わせください。

有松まちづくりの会はホームページを公開しています。「有松のまち」で検索。

「有松かわら版」をカラーでご覧いただけます。

《編集後記》

まちのいたるところで工事の音がする。景観に配慮した建物でまちが美しくなるのに比べ、人々のつながりは広がっているのだろうか。

まちの風景



藍染川沿いの
しだれ桜